

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選択科目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～15	日 本 史	16～29
世 界 史	30～45	地 理	46～53
数 学	54		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学については以下の注意事項も参照すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

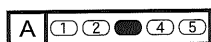
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

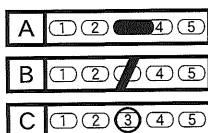
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(数 学)

〔Ⅰ〕 放物線 $y = x^2 - 2x - 1$ 上にあり、 x 座標が t である点を P とし、放物線 $y = x^2 + 3x + 4$ 上にあり、 x 座標が $-t$ である点を Q とする。ただし、 t は 0 以上の実数の定数とする。

- (1) PQ の最小値とそのときの t の値を求めよ。
- (2) 線分 PQ を 3 : 2 に内分する点の軌跡を図示せよ。

〔Ⅱ〕 2 個のさいころを同時に投げて、2 つの目 X, Y の差 $|X - Y|$ を確かめる。
それを以下のように最大 3 回おこなって得点が決められるものとする。

- ・ 1 回目で異なる目が出たときにはその差を得点として 2 回目と 3 回目は投げず、同じ目が出たときには得点を未定として 2 回目を投げる。
- ・ 2 回目で異なる目が出たときにはその差の 2 倍を得点として 3 回目は投げず、同じ目が出たときには得点を未定として 3 回目を投げる。
- ・ 3 回目を投げたときには出た目の差の 4 倍を得点とする。

このとき、得点が次のようになる確率をそれぞれ求めよ。

- (1) 0 点
- (2) 4 点
- (3) 10 点未満

〔Ⅲ〕 x の 2 次方程式

$$x^2 + a(b+1)x + a(b+2) = 0 \cdots (*)$$

について次の問いに答えよ。

- (1) $b = 1$ のとき、 $(*)$ が実数解をもつような実数 a の値の範囲を求めよ。
- (2) すべての実数 b に対して $(*)$ が実数解をもつような、実数 a の値の範囲を求めよ。